

各位

第11回「日本新薬こども文学賞」最優秀賞作品決定

日本新薬株式会社（本社：京都市、社長：前川重信）は、第11回「日本新薬こども文学賞」において、物語と絵画各部門の最優秀賞を含む16点の入賞作品を決定しました。

「日本新薬こども文学賞」は、絵本を通じて、未来を担う子どもたちの“ゆめ”を彩り、健やかな“こころ”の成長を見守りたいとの願いから、日本児童文芸家協会の後援を得て、当社創立90周年にあたる2009年に創設したものです。

11回目となる今回は、昨年11月から今年2月まで物語と絵画を募集し、全国から物語1,160点、絵画255点の作品が寄せられました。



絵画部門最優秀賞「白猫一家の休日」

[画像のダウンロードはこちら](#)

応募作品は、絵本作家の山本省三氏、かさいまり氏、京都精華大学名誉教授の坪内成晃氏、小児科医の細谷亮太氏他3名、計7名からなる審査員によって厳正に審査され、物語部門最優秀賞は、杉江勇吾（すぎえゆうご）さん（43歳：京都府在住）の「みみくそくん」が、絵画部門最優秀賞には、長谷川あかり（はせがわあかり）さん（31歳：神奈川県在住）の「白猫一家の休日」が選ばれました。

絵画部門では、本審査とは別に、当社の社員による投票を実施し、杉本千佳（すぎもとちか）さん（29歳：大阪府在住）の「あめのぼり、あまのじゃく」、しばのいずみさん（10歳：大阪府在住）の「泉の夜の演奏会」の2点を「日本新薬特別賞」として選出しました。入賞者には、10月に京都市内で開催する表彰式で賞金等を贈呈する予定です。

当社では、最優秀賞を受賞した物語をもとに、絵画部門の最優秀賞を受賞した長谷川あかりさんが絵をつけた絵本3万冊を制作し、今年10月の完成を目指します。

出来上がった絵本は、全国の小児科医院などの医療機関や公共施設等を通じて、広く子どもたちのもとに届けられるほか、当社のWEBサイトでも閲覧できる予定です。

第 11 回「日本新薬こども文学賞」受賞作品一覧

物語部門および絵画部門の各入賞作品および作家は、以下の通りです。

【物語部門最優秀賞】 杉江 勇吾 『みみくそくん』

こどもの本の世界をにぎわすブームに乗った作品かと思いきや、結末は心打たれるしっかりした構成で、こども文学賞の名にふさわしい作品に仕上がっています。

絵本になれば、「みみくそくん」のキャラクターも際立ち、こどもたちの人気を得ること間違いないと各選考委員からも絶賛され、最優秀賞を受賞しました。

【絵画部門最優秀賞】 長谷川 あかり 『白猫一家の休日』

ほほえましい猫親子が実際にその場にいるような空気に触れ、わたしたちの日常生活を膨らましてくれる作品です。

部門	賞	作品名	氏名（ペンネーム）
物語部門	最優秀賞	みみくそくん	杉江 勇吾
	優秀賞（大人の部）	むかし行き専用タイムマシン	尾崎 純郎
	佳 作（大人の部）	小さなイス	伊藤 智枝美
		たまねぎ、とととん	飛田 泉
	優秀賞（こどもの部）	カナとアクビの女王	富川 晴名
	佳 作（こどもの部）	ふみちゃんと雪だるま	青山 遊
		シャリヤになったおすし屋さん	山内 りあ
	絵画部門	最優秀賞	白猫一家の休日
優秀賞（大人の部）		ゆめの中にカラフルどうぶつ	カミジョウ ミカ
佳 作（大人の部）		くまと夢	エメリヤノフ ニコラ
		ピアノの森	木村 淳
優秀賞（こどもの部）		たくさんうめるにわとりさん	仲川 真人
佳 作（こどもの部）		にんじんほりにきましたよ。	仲川 璃子
		月夜の冒険	石井 吹季
日本新薬特別賞		あめのぼり、あまのじゃく	杉本 千佳
	泉の夜の演奏会	しばの いずみ	

当社 WEB サイト (<http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>) にも掲載しております。

以上